



2022年6月3日

各位

会社名太陽ホールディングス株式会社
代表者名代表取締役社長 佐藤英志
(コード:4626 東京証券取引所プライム市場)
問合せ先執行役員経営企画室長 富岡さやか
(TEL 03-5953-5200 (代表))

議決権行使会社 ISS の反対推奨に対する当社見解に関するお知らせ

2022年6月18日開催予定の第76回定時株主総会に付議する「第2号議案 定款一部変更の件」(以下、「本議案」)について、議決権行使助言会社の Institutional Shareholder Services Inc. (以下、「ISS」)が反対行使を推奨している旨の情報を入手いたしました。

本議案に関して、当社の見解を下記のとおりお知らせいたします。株主の皆様におかれましては、議決権の行使にあたりご一読のうえ、本議案にご賛同くださいますようお願い申し上げます。

記

1. ISS の反対推奨の理由

ISS は、以下に掲げる点を理由に、本議案について反対行使を推奨しています。

- (1) 株主との協議を必要とせず、また、開催される状況を明示することもなく、恒久的にバーチャルオンリー株主総会を開催することが可能となる。
- (2) 株主の質問や行動が経営陣に都合よく処理されるなど、会社と株主との有意義な対話が妨げられる懸念がある。

2. 当社の見解

本議案は、招集通知に記載のとおり、今後の有事への備え及び機動的に株主総会を運営できるようにするための変更であり、株主の皆様との対話を行う手段の拡充を目的としたものであります。

当社は、今後の不測の事態に備え、株主総会の開催方式の選択肢を拡充しておくことが、株主の皆様の利益にも資するものと考えております。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大が収束した後であっても、大規模な地震や台風、水害などの災害リスクは常に潜在しております。当社は、そのようなリスクが顕在化した場合においても可能な限り、株主の皆様と対話できる場を設ける方策のひとつとして、株主総会を開催できる手段を拡充しておくことは、企業のリスクマネジメントの観点からも重要であると考えております。

また、ハイブリッド出席型株主総会(会場出席とバーチャル出席を併用した株主総会)又はバーチャルオンリー株主総会であっても、株主総会においては当然に株主の皆様からの質問、動議、議決権行使を受け付ける必要があります。バーチャルオンリー株主総会は、株主の皆様のご権利を制限するものではありません。

バーチャルでの株主総会の出席を可能とすることは、移動にかかる時間・費用など、会場に足を運びにくい株主様の物理的な制約を取り除くことができ、より多くの株主様に株主総会にご出席いただける機会を提供することが可能となり、ひいては当社と株主の皆様との有意義な対話を促進するものと考えております。

当社といたしましては、現時点においてバーチャルオンリー株主総会の開催に固執し株主総会を運営していくことを想定してはならず、前述のようなリスクの顕在化や今後の動向を考慮したうえで、株主の皆様と有意義な対話ができる方策を柔軟に検討及び実施してまいりたいと考えております。

以上